

2019年6月11日

各位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 上田 隆之
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア プレリユード FLNG プロジェクト

液化天然ガス (LNG) の出荷開始について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のINPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd（以下、IOGA社）を通じて、オーストラリア連邦西豪州沖合WA-44-L鉱区にて、操業主体（オペレーター）であるShell及びパートナー各社と共に、プレリユードFLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）に参画しておりますが、今般、本プロジェクトの洋上液化施設（FLNG船）よりLNGの出荷を開始しましたので、お知らせいたします。

本プロジェクトは、沖合の井戸で生産されたガスおよびコンデンセートを西豪州ブルーム市から北北東約475キロメートルの沖合に位置するFLNG船にて分離・液化処理し貯蔵した上で、船積みして出荷するプロジェクトであり、2018年12月に井戸元からのガス生産^{*}を、本年3月にはコンデンセートの出荷をそれぞれ開始しております。

^{*}2018年12月26日付で公表 <https://www.inpex.co.jp/news/pdf/2018/20181226.pdf>

本プロジェクトから生産されるLNGのうち、IOGA社権益相当分のLNGについては、JERA（東京電力・中部電力の合弁会社）に対して年間約56万トン、静岡ガスに対して年間約7万トン（いずれもプラト一時）をそれぞれ販売する予定^{*}であり、日本のエネルギー安定供給に貢献するものと考えております。

^{*}2014年5月29日付で公表

<https://www.inpex.co.jp/news/pdf/2014/20140529.pdf>

当社は、オペレーターとして生産操業を行なっているオーストラリアのイクシスLNGプロジェクト、インドネシアにて開発を進めるアバディLNGプロジェクトをはじめ、国内外で需要が高まる複数の天然ガス（LNGを含む）事業に参画しており、「ビジョン2040」で掲げた事業目標の一つである、アジア・オセアニアを中心とした地域でガス開発・供給の主要プレイヤーになることを目指してまいります。

なお、本件による今期連結業績への影響は軽微ですが、来期以降、本プロジェクトから一定の収益およびキャッシュフローの貢献を見込んでいます。

以上

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

【本プロジェクトの概要】

プロジェクト名	プレリウドFLNGプロジェクト	
プロジェクトの位置	西豪州ブルーム市から北北東約475キロメートル	
最終投資決定	2011年5月	
当社権益取得	2012年6月	
権益比率	Shell (オペレーター)	67.5%
	当社	17.5%
	KOGAS	10.0%
	OPIC	5.0%
生産能力 (ピーク時の数量)	LNG	360 万トン/年
	LPG	40 万トン/年
	コンデンセート	130 万トン/年
FLNG船 建設コントラクター	Technip Samsung Consortium (TSC)	

【本プロジェクトの位置図】

